発表分野の追加を伴うシンポジウム(公募セッション)募集要項

第71回日本生態学会大会(ESJ71)企画委員会から公募セッションの提案募集のお知らせです。

ESJ71では、新しい試みとして、発表分野の追加を伴うシンポジウム(公募セッション)を実施予定です。シンポジウムコンビナーの方に「テーマ」を提案していただき、採択された場合には、そのテーマに沿ったシンポジウムを企画していただくとともに、提案した「テーマ」が一般発表における「分野」として追加されます。口頭発表、ポスター発表、自由集会への申し込み者は、追加された「テーマ」を自身の発表希望分野として申し込むことが可能になり(シンポジウムは不可)、この「分野」に採択された発表は、シンポジウムと連続した発表時間に設定されたり、会場近くでのポスター掲示を優先する等の措置がはかられます。

コンビナーにとっては、通常のシンポジウムに比べ、より多くの演者、聴衆と交流する機会になります。一般発表者にとっては、これまでやや敷居が高かったシンポジウムやシンポ企画者と直接議論や交流するきっかけとなることが期待できます。シンポジウム企画を予定されている方は、下記の募集要項をご一読の上、ぜひ公募セッションへの応募をご検討ください。

発表分野の追加を伴うシンポジウム(公募セッション)募集要項)=========

- コンビナーの方に「テーマ」を提案していただきます。
- 採択された場合、コンビナーの方には提案テーマに沿ったシンポジウムを企画していただきます。ただし、提案の時点では演者や講演詳細を決めておく必要はありません。採択後に演者を公募する等、その準備は自由に進めていただいて結構です。場合によっては演者に会員外の方を含めることも可能です(補記 1 参照)
- 提案「テーマ」については ESJ71 企画委員会で審査を行い、審査の結果に基づいて1-2 件を採用します。
- 審査のポイントは、「生態学におけるテーマの魅力」「大会において期待できるインパクト」「既存分野と明確に差別化できること」になります。あまり一般的すぎるテーマよりは、近年のトレンドや、これまで生態学会で扱われてこなかったテーマの提案を期待しています。
- 「テーマ」が採択されたコンビナーの方には追加された「分野」に申し込んできた口頭発表、ポスター発表、自由集会が事前に共有され、コンビナーの方は必要に応じて選抜を行うことも可能です。なお、選抜を行った場合、これに漏

れた発表は、第二希望以下の「分野」において一般発表していただくことになります。選抜に漏れた場合も、発表の権利を失うことはありません。

- 本大会におけるポスター、自由集会のオンサイト発表は原則として希望者に対して抽選を行うことになっていますが、公募セッションのコンビナーは、ポスター発表 20 件、自由集会 2 件までを優先的にオンサイト発表として採択することが可能となります。
- 提案者は連名でもかまいませんが、連絡対応者は1名にしてください。
- 提案 / 切は 7/31(月)日本時間(JST)23:59 です。採否は 8 月中の通知を予定 しています。
- 提案は応募用 Google フォーム(https://forms.gle/fcvXnzBmCMRZZvQs9)から行ってください。
- 応募書類に記載する項目は以下の通りです:
 - (1)メールアドレス、申請代表者名、申請代表者所属
 - (2)提案テーマと狙い
 - (3) そのテーマを提案する理由(そのテーマを扱うことで、それを分野として一般に広げることで、学会大会にどのようなインパクトが期待されるかなど)。
 - (4) そのテーマに関する付随情報(関連する論文、国際条約等)
 - 注:(3)については(2)の参考情報として確認するのみで、例えばハイインパクトジャーナルの掲載された論文があれば有利といったことはありません。

補記1: ESJ71 シンポジウムでは、「招待講演者」という制度があります。これは非会員の優れた研究者(国内外問わず)に大会参加費無料で講演して頂く制度で、人数制限はありません。ただし、「招待講演者」への旅費支給はありません。

- シンポジウム企画者(共同企画者も含む)は日本生態学会正会員に限ります。
- 。他分野との交流を深めるため、生態学会会員以外の非会員の方に招待講演をしていただくことも可能です(「招待講演者」制度)。招待講演者の大会参加費は無料となります。ただし、同一の非会員による2大会連続の招待講演は認められませんのでご注意ください。
- 。 シンポジウムの開催時間は約3時間です。
- 。 テーマを提案した方も、一般講演と同様に発表申し込みをしていただく 必要があります。登録締め切りは他の一般講演と同じです。

皆様のご応募をお待ちしております。

ESJ71 企画委員長 大澤剛士